

株主通信 Vol.8

ゆうちょ銀行VISION

2020年3月期 中間期（2019年4月1日▶2019年9月30日）



ゆうちょ銀行

証券コード：7182

経営理念

お客様の声を明日への羅針盤とする
「最も身近で信頼される銀行」を目指します。

信頼

法令等を遵守し、お客さまを始め、
市場、株主、社員との信頼、社会への貢献を大切にします

変革

お客様の声・環境の変化に応じ、
経営・業務の変革に真摯に取り組んでいきます

効率

お客さま志向の商品・サービスを追求し、
スピードと効率性の向上に努めます

専門性

お客様の期待に応えるサービスを目指し、
不断に専門性の向上を図ります

CONTENTS

P 3	トップメッセージ
P 5	ゆうちょ銀行 TOPICS
P 6	定時株主総会レポート
P 7	特集
P11	決算ハイライト
P13	株主スクエア
P14	会社・株式情報／株主メモ
裏表紙	配当について

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
当行の今後の取り組みなどについてご説明させていただきます。

株式会社ゆうちょ銀行
取締役兼代表執行役社長

池田 素人



トップメッセージ

2019年度中間期の業績等

2019年度中間期の業績は、親会社株主に帰属する中間純利益1,448億円となり、通期の業績予想2,700億円に対する進捗率は、53.6%となりました。

中間配当は、予定通り1株当たり25円とし、期末配当25円、通期で50円の配当を予定しています。予想配当性向は、通期で69.4%です。

中期経営計画（2018年度～2020年度）の進捗

中期経営計画もこの中間期末で折り返し地点を迎えました。依然として、厳しい外部環境が継続しておりますが、この状況を跳ね返すため、2018年度～本中間期末まで、中期経営計画で掲げる3つの基軸を着実に推進しました。

1つめの基軸「お客さま本位の良質な金融サービスの提供」では、2019年5月にスマートフォンを活用したQRコード^{※1}による新たな決済サービス「ゆうちょPay」の取り扱いを開始しました。現在、お客さまの利便性を高めるために、利用可能店舗の新規開拓を積極的に進めており、全国の営業店を活用し、大手のコ

ンビニやスーパー、飲食チェーンなどへの営業を強化しているほか、地域のお店などについても営業を加速してまいります。今後3年間で利用者数1,000万人、年間の決済金額1兆円を目指す予定です。

また、投資信託については、お客さま本位の業務運営の実践に向けた具体的な指標（KPI）において、他社との比較が可能な共通KPI^{※2}を初めて公表しました。今後、資産運用商品の販売について、より一層お客さま本位の業務運営の推進、実践ができるよう、経営陣としても引き続き努力してまいります。

2つめの基軸「運用の高度化・多様化」では、国内の超低金利環境を受け、外国証券などのリスク性資産への資金シフトを進めてまいりました。現在の超低金利環境が継続する場合、これを続けていくことを見込んでおります。プライベート・エクイティファンドや不動産ファンドなど戦略投資領域については、一部資産において割高感や加熱感がみられ、リスク性資産の運用資産構成を見直しました。そのため、戦略投資領域では、当初の中計目標である2021年3月末時点8.5兆円よりも緩やかな積上げを見込んでおります。その一方で、リスク性資産全体では、海外の社債などの海外クレジット資産を中心に、中計対比で積極的に積み上げを行っているところです。

また、2018年2月に株式会社かんぽ生命保険との共同出資により設立したJPインベストメント株式会社については、設立後1年以上が経過し、2019年9月末までに9件の投資を実施、おおむね計画通りに進捗しております。

最後に、3つめの基軸「地域への資金循環等」では、地域活性化ファンドへの投資件数が

株主の皆さまへ

当行が今後さらなる成長を実現し、それによって生まれた価値を株主・投資家の皆さまと分かち合えるよう、私は熱意と責任をもって経営に邁進する所存です。

2019年9月末現在で23ファンドまで拡大しました。これらのファンドを通じて、エクイティ性を地域に循環させ、地域社会の活性化を目指しております。

さらに、地域金融機関との連携という点では、10月24日より、川崎信用金庫と税公金取りまとめ事務の共同化を実施しており、今後も、地域の金融インフラとして事務共同化を推進してまいります。

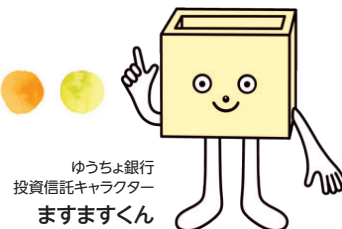


ますますのご支援・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

※1：QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

※2：共通KPIは、2018年6月に金融庁から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」に基づく指標です。

●● ゆうちょ銀行 TOPICS ●●



ゆうちょ銀行
投資信託キャラクター
ますますくん

大和証券グループとの資産形成分野における新たな協業の検討

大和証券グループと日本郵政グループは、5月15日に資産形成分野における新たな協業の検討を発表しました。お客さま一人ひとりのライフスタイル・ニーズに応じた、投資一任サービス等^{*1}、^{*2}新たなコンサルティングサービスの開発における協力体制の構築を検討するとともに、各自の得意分野や経営資源等を相互に活用することで、我が国における「貯蓄から資産形成へ」の流れをサポートし、より豊かな国民生活の実現に貢献してまいります。

※1：ゆうちょ銀行において投資一任サービス等新たなサービスを提供するためには当局の認可が必要となります。
※2：投資一任サービスとは、投資一任契約に基づき、投資運用業者がお客さまから投資判断の全部または一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づきお客さまのための投資を行うに必要な売買・管理等までを行うサービスです。

ソニー銀行を所属銀行とする住宅ローン媒介業務の開始

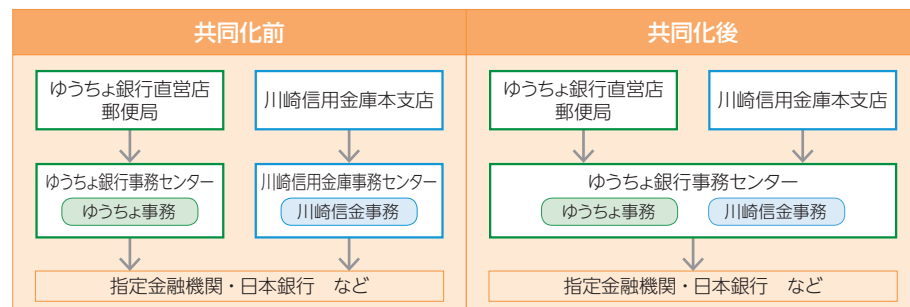
ソニー銀行を所属銀行とする住宅ローン媒介業務について、10月1日から当行直営店41店舗にて開始しております。住宅ローンにAI審査を導入するなど、ユニークな発想と最新技術をもって取り組んでいるソニー銀行と相互に強みを補完し合い、シナジー効果を発揮し、お客さまに新たな価値を提供できるものと考えております。

なお、当行は新生銀行についても、住宅ローン媒介業務の取扱候補先として、協議を実施しております。

川崎信用金庫との税公金取りまとめ事務の共同化

川崎信用金庫と当行は、10月24日より、税公金取りまとめ事務の共同化を実施しております。これは、これまで金融機関ごとに行っていた、国庫金・県市町村等の領収済通知書の分類・集計・送付などの集中事務を共同実施することにより、事務効率化や使用機器・要員の効率的な運用を図ることを目的とするものであり、当行は今後も地域金融機関と連携し、地域の金融インフラとして事務共同化を推進してまいります。

【事務共同化のイメージ】



定時株主総会レポート



2019年6月18日、第13期定時株主総会を開催いたしました。

当日は、取締役13名をご選任いただくとともに貴重なご意見・ご質問をいただきました。

今後もより多くの株主の皆さまにご理解いただけるよう努めてまいります。

2019年6月18日 ザ・プリンス パークタワー東京にて開催
来場者 495名



定時株主総会で寄せられたご質問と回答の一部をご紹介します。

Q1 金融政策に対する認識について

外部環境は厳しく、国内金利は10年国債金利がマイナスという環境が続いており、2017年度に比べ2018年度は大幅に減益となりましたが、役務取引等利益は初めて1,000億円を超えました。

ゆうちょPayの提供開始をはじめ、中長期的な収益基盤を作る取り組みを行っており、厳しい経済環境であっても運用の高度化・多様化、非金利収益の拡大、効率的な資源配分といった施策に取り組むことでこれを打ち返し、安定的な利益を確保するよう努めてまいります。

Q2 サイバーセキュリティ体制について

日々進化し続ける攻撃に対して、体制・技術をレベルアップして、引き続き安心してご利用いただけるように努めてまいります。

具体的には、以下の対応を通じて日々監視を行っております。

- ・攻撃の情報を集約し、しっかりと監視体制を敷いて攻撃の入り口を塞ぐ対策
- ・情報を取る場合は、出口をしっかりと塞いで情報が外に出ないための対策
- ・なりすましに対しては、日々の監視およびお客さまにも不審なメールなどへの返信等に気を付けていただくという対応

お客さまのさらなる利便性の向上に向けた取り組み

ゆうちょ銀行では、お客さまのスマホがおサイフがわりになる「ゆうちょPay」という新しいスマホ決済サービスを開始しました。
今回の特集では、そのサービス内容などをご紹介します。



ゆうちょPayサービス開始

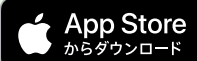
ゆうちょPayでは、コードを読み取るだけで、カンタンにお支払いができます。お店でのお買い物や飲食代金等のお支払いはもちろん、払込取扱票（対応した払込取扱票に限ります。）による公共料金等のお支払いにもご利用いただけます。

なお、ご利用にあたっての審査は不要で年齢制限もありません。また、口座から即時に引き落としとなるため、事前のチャージも不要です。


ご利用方法

1 アプリストアからスマホにアプリをダウンロード

iPhoneの方 Androidの方



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう

ご利用環境 iOS ▶ 10.0以降 Android ▶ 5.0以降

※Apple、Appleロゴ、iPhone、iOSは米国その他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
※App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※Android、Google Play、Google Play ロゴは、Google LLCの商標です。

2 アプリを開いて初期設定（ゆうちょ口座の情報設定等）

- ゆうちょPayの初期設定には、以下が必要です。
- ゆうちょ銀行の総合口座（通常貯金）（個人口座のみ）
 - キャッシュカードの暗証番号（4桁）
 - ご利用可能なEメールアドレス
- ※初期設定において、確認コードをメールでお送りします。受信拒否設定をされている場合は、「jp-bank.japanpost.jp」ドメインのメール受信許可設定をしてください。

3 すぐにご利用OK!カンタンお支払い

お店のお支払いで
お支払いの際に「ゆうちょPay」を指定して、お店の方の案内にそって、お店の方が表示したコードを読み取る、またはスマホにコードを表示して、お店の方に読み取ってもらえば支払い完了です!

払込取扱票（請求書）のお支払いで
公共料金等、様々な料金の払込取扱票（請求書）に記載されたゆうちょPayお支払用のコードを、ゆうちょPayアプリで読み取るだけで、支払い完了です!



ゆうちょPayが使えるお店

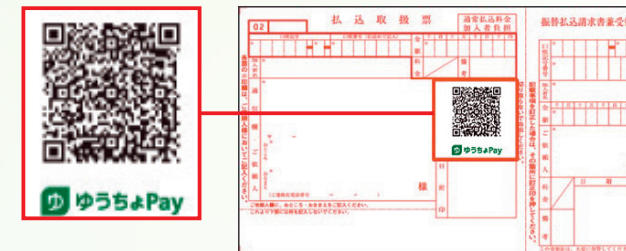
ゆうちょPayは、ゆうちょPayマークまたは銀行Payマークのあるすべてのお店でご利用いただけます。ご利用いただけるお店・払込取扱票（請求書）等は随時拡大しています。



■ご利用いただけるお店(例)



■当行の払込取扱票やコンビニ払込票の支払機能の提供



● ゆうちょPayが使えるお店について詳しくはゆうちょ銀行のWebサイトに掲載しております。

- [トップページ](#) ▶ [個人のお客さま](#) ▶ [送金・支払・海外関連](#) ▶ [ゆうちょPay](#) ▶ [ゆうちょPayが使えるお店](#)

ご利用方法	ご利用サービス
お店・施設	店頭でのお買い物・お食事などで、コードを読み取ってお支払い
払込取扱票（請求書）	各種料金等の払込取扱票（請求書）に記載されたコードを読み取ってお支払い
コンビニ払込票（請求書）	各種料金等のコンビニ払込票（請求書）に記載されたバーコードを読み取ってお支払い
キャッシュアウト	東急線各駅（東京・神奈川）の駅券売機での貯金のお引き出し

教えて! ペイレンジャー

「ゆうちょPay」オリジナルキャラクターのペイレンジャーが「ゆうちょPay」に関する様々な疑問にお答えします!



Question 01

ゆうちょPayはいつでも利用できるのですか。



サービス提供時間は、24時間です。
(キャッシュアウトのご利用可能時間は5:30~23:00です)
アカウント登録は、1月、4月、7月、10月の最終火曜日、1:00~6:00は受け付けできません。
なお、システムメンテナンス等によりサービスを休止する場合があります。



ぺいぐりーん

Question 02

ゆうちょPayに利用上限金額はありますか。利用上限金額は、どのように登録・変更するのですか。



1日あたりと1ヶ月あたりの現在の利用上限金額の変更に際し、それぞれ3万円以内の利用上限金額への変更であればアプリ上で設定可能です。
(初期設定 1日あたり:3万円、1ヶ月あたり:3万円)
利用上限金額を3万円超に変更するには、お手続き^(※)が必要です。
※詳しくは、ゆうちょPayアプリから、ヘルプ・規約>ヘルプ>キーワード検索で「利用上限」と検索してください。



ぺいれっど

Question 03

ゆうちょPayを利用した場合、アプリ上で確認できますか。



アプリトップの「ご利用履歴」をタップいただくと、1ヶ月ごとのご利用総額やお支払いの詳細を確認できます。(最大1年分)



ぺいぶるー

Question 04

ゆうちょPayアプリのログインIDを忘れてしまいました。どうすれば良いでしょうか。



ログインIDをお忘れの場合は、以下にお問い合わせください。
ゆうちょPayサポートデスク
0120-387-186
平日8:30~21:00/土・日・休日9:00~17:00
(12月31日~1月3日は、9:00~17:00)
※自動音声が出た後、「①個人のお客さまからのお問い合わせ」→「②取引暗証番号、ログインID等をお忘れの場合や、口座登録、お支払い時のエラーに関するお問い合わせ」の順に選択してください。



ぺいぴんく

Question 05

スマートフォンを機種変更した場合、ゆうちょPayアプリの内容を引き継ぐには、どのような操作が必要ですか。



①機種変更前のスマートフォンで「機種変更コード」を発行します。
②新しいスマートフォンでアプリをダウンロードし、ログイン画面下部の「機種変更の場合」から機種変更コードを入力してログインすることで、アプリの内容が引き継がれます。
※機種変更をした場合、機種変更前の端末で受け取られたクーポンはご利用いただけません。
※生体認証の設定は引き継がれませんので、再度新しい端末で登録をお願いいたします。詳しくは、ゆうちょPayアプリから、設定>生体認証の設定をご覧ください。



ぺいイエロー

Webサイトのご案内

ゆうちょ銀行のWebサイトでは、財務情報やIR関連情報、株式関連情報、CSR活動への取り組みおよびESG関連情報などをわかりやすくお伝えしています。ぜひアクセスしてみてください!

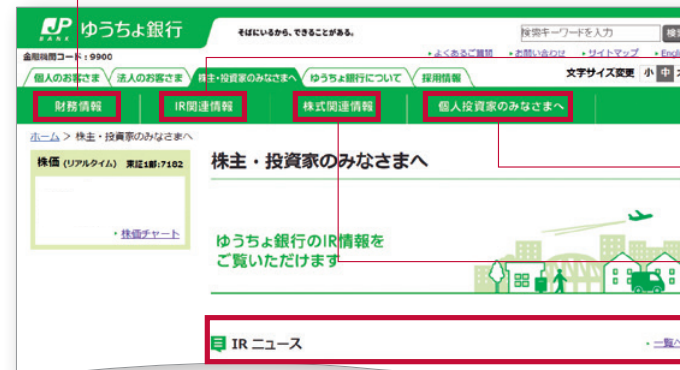
<https://www.jp-bank.japanpost.jp/>

トップページ

株主・投資家のみなさまへ

財務情報

決算短信や有価証券報告書などをご覧いただけます。



IR関連情報

IRカレンダーや格付情報、IR関連のお問い合わせ(よくあるご質問)などをご覧いただけます。

個人投資家のみなさまへ

個人投資家向け説明会、CSR活動への取り組みおよびESG関連情報などをご覧いただけます。

株式関連情報

株主還元方針や配当情報などをご覧いただけます。

IRニュース

最新のIR関連ニュースをご覧いただけます。

決算ハイライト

決算の概要（単体）

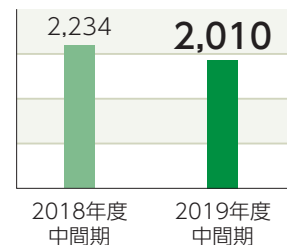
- ☑ 中間純利益は1,447億円となり、前中間期比145億円の減益
- ☑ 1株当たりの中間配当額は25円
- ☑ 資産は国債を中心に有価証券残高が減少、負債は貯金残高が安定的に推移

ポイント解説

Point 1

経常利益（単体）

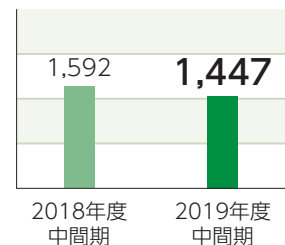
（単位：億円）



Point 2

中間純利益（単体）

（単位：億円）



金利が低位で推移するなど厳しい経営環境下、経常利益は前中間期比223億円減少の2,010億円となりました。また、中間純利益は、前中間期比145億円減益の1,447億円となりました。

損益の状況（単体）

業務粗利益	
資金利益	7,202
役務取引等利益	529
その他業務利益	1,181
うち外国為替売買損益	1,328
うち国債等債券損益	△175
経費（注）	
一般貸倒引当金繰入額	—
業務純益	
臨時損益	251
うち金銭の信託運用損益	266

Point 1 経常利益

Point 2 中間純利益

注：臨時処理分を除く。

財産の状況（単体）

Point 3 資 産	
うち有価証券	1,371,352
うち貸出金	52,974
負 債	
うち貯金	1,809,991
純 資 産	
株主資本	89,730
評価・換算差額等	23,777

（単位：億円）

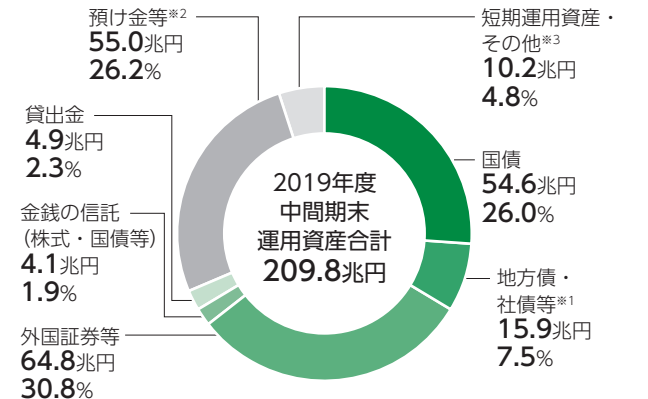
	2018年度中間期	2019年度中間期
業務粗利益	7,202	6,782
資金利益	5,491	5,018
役務取引等利益	529	654
その他業務利益	1,181	1,109
うち外国為替売買損益	1,328	1,078
うち国債等債券損益	△175	53
経費（注）	5,219	5,146
一般貸倒引当金繰入額	—	—
業務純益	1,983	1,636
臨時損益	251	374
うち金銭の信託運用損益	266	277
経常利益	2,234	2,010
中間純利益	1,592	1,447

（単位：億円）

	2018年度末	2019年度中間期末
資 産	2,089,704	2,131,229
うち有価証券	1,371,352	1,354,234
うち貸出金	52,974	49,362
負 債	1,976,196	2,014,770
うち貯金	1,809,991	1,819,026
純 資 産	113,508	116,459
株主資本	89,730	90,241
評価・換算差額等	23,777	26,218

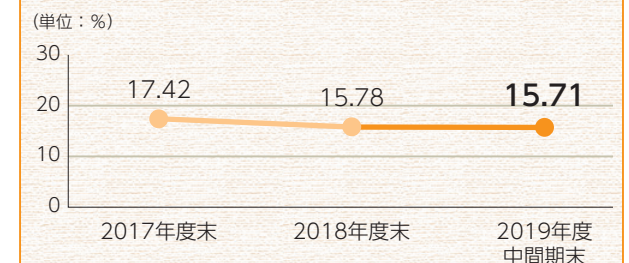
Point 3 運用資産（単体）

資産のうち、運用資産の状況は次のとおりです。



※1「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債、株式。
 ※2「預け金等」は譲渡性預け金、日銀預け金、買入金銭債権。
 ※3「短期運用資産・その他」はコールローン、買現先勘定等。

単体自己資本比率（国内基準）の推移



用語解説

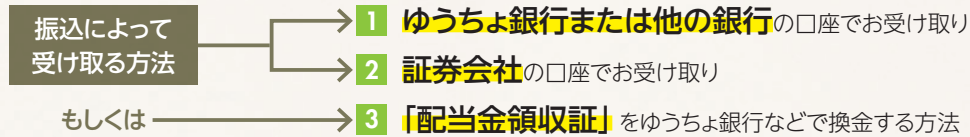
自己資本比率

銀行が保有する資産などに対する自己資本の割合であり、金融機関の経営の健全性を示す指標のひとつです。当行のように海外営業拠点を有しない国内基準の対象となる銀行は4%以上の水準であることが求められています。

Q&A このコーナーでは株主さまからよくいただく質問についてご紹介いたします。

Q ゆうちょ銀行の配当金の受け取り方法について教えてください。

A 配当金の受け取り方法には、次の3つがあります。



Q 配当金をゆうちょ銀行または他の銀行の口座への振込によって受け取るためには、どのような手続きが必要ですか。

A ゆうちょ銀行または他の銀行の口座への振込による配当金のお受け取りを希望される場合は、お取引のある証券会社等までお申し出ください。

Q ゆうちょ銀行の配当金領収証に記載された払渡しの期間が過ぎてしまった場合は、どうしたら良いですか。

A 払渡しの期間経過後のお取り扱いについては、株主名簿管理人である「三井住友信託銀行株式会社」の専用フリーダイヤルまでご連絡ください。

なお、配当金は支払開始の日から**起算して3年以内にお受け取りがない場合は、当行定款の規定によりお支払ができなくなります**ので、お早めにお受け取りください。

専用フリーダイヤル | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先) | ☎ **0120-581-841** (フリーダイヤル) (受付時間 土・日・祝日を除く午前9時～午後5時)

■ 会社概要 (2019年9月30日現在)

名称	株式会社ゆうちょ銀行
設立年月日	2006年9月1日 ※2007年10月1日に「株式会社ゆうちょ」から「株式会社ゆうちょ銀行」に商号変更
資本金	35,000億円
従業員数	12,908名 ^注
主な事業所	本社、営業所234

(注) 従業員数は、当行から他社への出向者を含まず、他社から当行への出向者を含んでいます。また、臨時従業員（無期転換制度に基づく無期雇用転換者（アソシエイト社員）を含む。）は含んでいません。

■ 株式の状況^注 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	18,000,000千株
発行済株式総数	3,749,475千株 (自己株式750,524千株を除く。)
株主数	454,316名

(注) 単位未満を切り捨てて表示しています。なお、自己株式には株式給付信託が保有する当行株式（682千株）を含めていません。

■ 株主メモ

証券コード	7182
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
1単元の株式数	100株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	毎年3月31日及び中間配当を行うときは毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

■ 取締役 (2019年9月30日現在)

取締役兼代表執行役社長	いけ だ のり と 人 池 田 憲 人
取締役兼代表執行役副社長	た な か すずむ 進 田 中 進
取締役	なが と まさ つぐ 貴 長 門 正 貴
取締役	なか ぎと りょう 一 中 里 良 一
社外取締役	あり た とし よし 徳 有 田 知 徳
社外取締役	の ばら き わ こ 子 野 原 佐 和 子
社外取締役	まち だ てつ 徹 町 田 徹
社外取締役	あか し のぶ こ 子 明 石 伸 子
社外取締役	いけ だ かつ あき 朗 池 田 克 朗
社外取締役	ちゅう ばつ りょう 治 中 鉢 良 治
社外取締役	たけ うち けい すけ 介 竹 内 敬 介
社外取締役	かい わ まこと 誠 海 輪 真 誠
社外取締役	あ い ばら り き 咲 粟飯原 理 咲

主な手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 配当金受領方法の指定のお手続き ● 住所・氏名変更等のお手続き ● 単元未満株式の買取・買増請求のお手続き ● 相続のお手続き 	□座を開設されている証券会社等
<ul style="list-style-type: none"> ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 各種証明書の発行に関するお手続き ● その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-581-841 (フリーダイヤル) (受付時間 土・日・祝日を除く午前9時～午後5時)

いつもここに。



配当について

2019年度予想1株当たり配当金

25円 + 25円 = 50円

中間(実績)

期末(予想)

通期(予想)

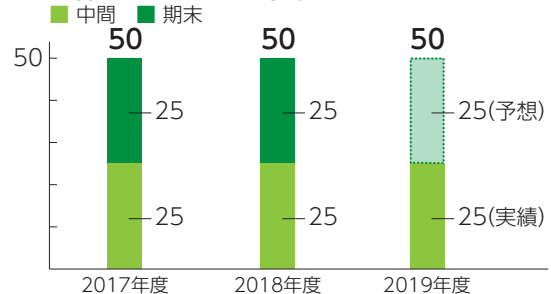
(配当性向
(予想) 69.4%^注)

株主還元方針 (2020年度末まで)

- 1株当たり配当金50円(年間)を確保
- 安定的な1株当たり配当を目指す
- 今後の規制動向、利益成長や内部留保の充実等の状況により、追加的な株主還元政策を実施することも検討

注：配当性向(予想)は、2019年度の予想1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益金額と2019年度の普通株式に係る予想1株当たり配当額より算出

1株当たり配当金の推移 (単位：円)



株式会社 ゆうちょ銀行

〒100-8793 東京都千代田区大手町二丁目3番1号
大手町プレイスウエストタワー

